

関西女子学生バスケットボール連盟

2022 年度 第 6 回 理事会議事録（案）

日時：2023 年 1 月 21 日 16:30~17:30

場所：対面または ZOOM による遠隔会議

出席者

[副会長] 野老稔

[理事長] 丸岡信吾

[副理事長] 荒木初広、西川幸穂

[理事] 古本ルミ、畑岸邦枝、坂井和明、山中博史、永田康一、玉井里英、市谷浩一郎、岸本里紗、村上なおみ、斎藤信也、山本孝、佐藤亜紀子、瀧本真己、大畑昌己、小林未季代、中原英博、白井徹、東亜弓、今西正康

[学生委員] 島美悠、永吉芽依、山路佳奈、高田奈々、足立奈月、鶴田彩海、平本愛純、大久保結子、秋岡茉菜、上野なつな、松尾玖美、深井愛子、藤浪真子

書 記 : 上野なつな、藤浪真子

古本総務部長から出席状況の確認があり、連盟規約の要件を満たしており、本日の会議は成立することが報告された。慣例により、丸岡理事長を議長として議事進行することとした。

〈審議事項〉

1.2022 年度秋季トーナメント大会の振り返りについて

(1)秋季トーナメント大会期間中のコロナ感染者の報告と対応について

総務部、島より資料を用いて説明された。12 名の方から感染あるいは濃厚接触に当たる者が出たという報告があった。

(2)各部からの振り返り

[総務部]

島より、資料 1 枚用いて説明された。コロナ感染対策について、代表者会議で呼びかけたこともあり、クリーニングスペースを利用できているチームが増えたと報告があった。

[広報渉外部]

山路より、資料1枚用いて説明された。良かった点として、今大会でも一眼レフでの撮影に挑戦し、YouTubeのサムネイルやInstagramの投稿に使用し、以前よりも投稿にこだわることができ、また、チームへ写真を共有することができたと報告があった。一眼レフは、学連員個人の私物であったため、次大会までに学連として購入することを希望した。さらに、反省点として、パンフレット作成の際、作業日程変更があり三和印刷に迷惑をかけたことと短時間パソコンが落ち、該当時間の映像が途切れることがあったという2点が挙げられた。途切れている時間帯はインスタライブで対応し、2分ほどで復旧したと報告があった。

[競技部]

永吉より、資料1枚用いて説明された。反省点として、タイムスケジュール告知を前日にすることが出来ず、当日の朝にすることが何度もあったこととメンバーチェックで追加エントリーの見落としがあったことの2点が挙げられた。ユニフォームについて、学連で指定した内容で混乱が生じたため、今後は番号の若い方を淡色にすることとした。

[強化部]

特になし。

[審判部]

高田より、資料1枚用いて説明された。審判勉強会について、参加人数が少なかったため、次回は女子学連のSNSに載せるなどしてより多くの人に参加していただけるよう方法を考える。人数は少なかったが意欲ある人材の発掘に繋がっているため、口コミで上げていきたいと報告があった。

[財務部]

上野より、資料1枚用いて説明がされた。反省点として、秋季トーナメント大会の参加費の領収書を各チームに渡すのを忘れていたということと会場でパンフレットを購入できないチームがあったということと、そしてチーム販売用のパンフレットを会場に発送するのを忘れていたということの3点が挙げられた。このような不手際がないように、今後は意識していくと報告があった。

2. 2023年度・2024年度理事改選に伴う日程と進め方について

西川副理事長より、役員を選出手続きについて説明された。一般社団法人化を進めることになっているが、その準備と状のため、現行規約に則って改選を行う。規約第18条において、会長を除く役員任期は2年間をもって1期とすることとなっており、また期間は4月1日から翌事業年度3月31日までとする、と定めていることから、現役員の任期は2023年3月31日までとなるということが報告された。しかし、コロナ対応など学連業務がイレギュラーに進行したことや、法人化に関しては会計の移行など一定の期間をみた措置が必要であること、さらには日学等との調整も残されていることから、2023年4月当

初からの法人化は現実的に厳しい状況にあるということが報告され、現行規約の基づき次期役員を選出するが、2023年度中に法人化を予定していることから、途中で任期についても変更の可能性があることが報告された。また、理事の推薦校について資料2、5を参照に説明された。2024年度から新体制に向けて2023年度中に手続きを終えるように準備する。また、法人化となれば理事長が専務理事となること、理事構成人数が現行38枠から25枠に削減予定であるため、2023年度理事から2024年度に外れた場合専門委員として引き続き運営にあたることが報告された。そして、この案は承認された。推薦が出せよう3月4日（土）に理事会を開催し、新役員体制を決定することが報告された。

〈報告事項〉

1. インカレ報告について

丸岡理事長より、資料1枚用いて説明された。インカレと皇后杯の日程の重複を来年度は避けるようにJBAに依頼する。

2. 事業報告の作成と各部年間計画について

島より、資料6枚用いて説明された。西川副理事長より、事業報告書にコロナ対応についても記すよう指摘があり、記載することとした。

3. 法人化に向けた準備状況について

西川副理事長より、資料1枚用いて説明された。法人化に伴って、現行体制を変更することは、最小限とし、組織構成も大きく変更しないと報告があった。

6. ユニバーシアード候補選手について

荒木副理事長より、関西地区よりスタッフ1名、選手3名が2022年度バスケットボール女子ユニバ日本代表チーム日本代表候補選手選考合宿に参加すること、また坂井理事より、年末セレクションがコロナ関連で不成立だった為、1月末に再度セレクションを行うことが報告された。

〈その他〉

1. 今後の日程

理事会を3月4日（土）18:00からホテルクライトン江坂で実施予定。

古本総務部長より閉会を宣し、理事会を終了した。

以上